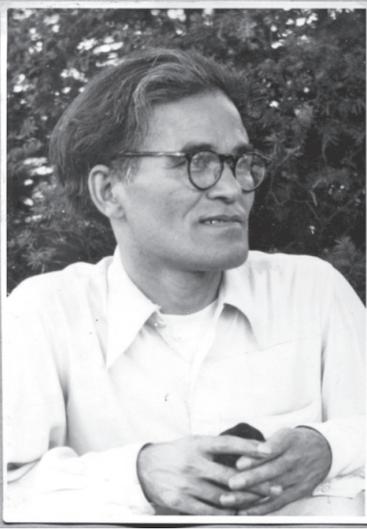


8月21日まで

# 国立アイヌ民族博物館 第4回特別展示 CHIRI MASHIHO 知里真志保 -アイヌ語研究にかけた熱意-

情報ノート

登別市郷土資料館蔵



知里真志保（ちりましほ、1909～1961）は、北海道南部、現在の登別市で生まれた言語学者、民族学者です。

『アイヌ神謡集』の編訳者の知里幸恵の弟で、代表的な著書に、北海道、樺太各地で採集した語彙を基にした『分類アイヌ語辞典』や『地名アイヌ語小辞典』などがあります。これらは現在に至るまでアイヌ語やアイヌ文化研究に欠かせないものとして評価されています。そのほか、口承文芸や文化史的な論文を多く残しており、没後60年を経ても言語学、口承文芸、民族学、歴史学研究の分野への影響力は多岐にわたります。本展示では、約210点の展示資料を駆使して今に受け継がれる彼の研究を振り返ります。

## 【見どころとなる六つのテーマ構成】

▽ 研究の原点ともいわれる家族や故郷

「1章 登別に生まれて 1909～1930」

▽ アイヌ自身の視線でアイヌ文化を研究することの重要性を感じた

「2章 東京での学生生活とアイヌ語研究への決意 1930～1940」

▽ さまざまな分野の研究者との出会いと共同研究

「3章 アイヌ語研究の基礎を築く～樺太と北海道でそれぞれの専門家と 1940～1950」

▽ アイヌ語辞典の出版などアイヌの壮大な文化史を提起

「4章 北海道各地での調査と辞典編さん 1950～1961」

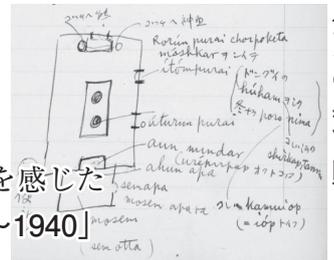
▽ アイヌの歴史と文化における重要な人々の出会い

「5章 知里真志保を描くウタリ～同族からの熱い想い」

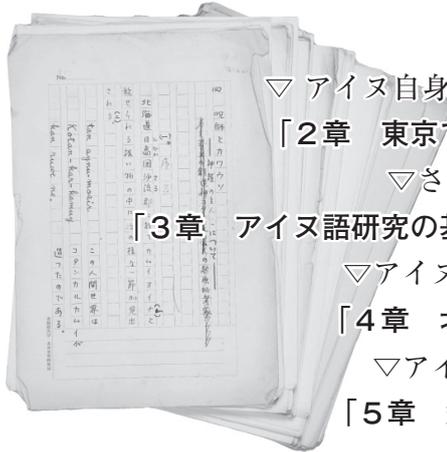
▽ アイヌ語を楽しく学ぼう

「6章 AYNU ITAK～知里先生のアイヌ語研究にふれてみよう」

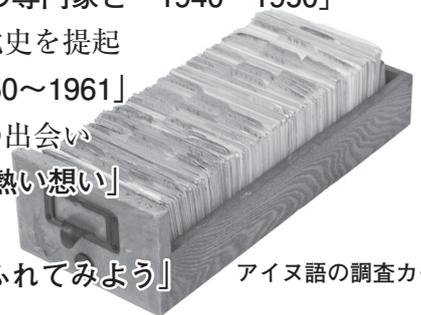
アイヌ語の調査カード



東大英文科時代のノート  
(チセの見取り図)



「呪師とカワウソ」の原稿



## 《関連イベント》

- ◆ 7月2日(土)、8月20日(土) 13時30分～14時 特別展示室  
同館職員によるギャラリートーク
- ◆ 7月16日(土) 13時30分～15時 1階交流室  
講演会「知里真志保と久保寺逸彦 ～アイヌ (の) 文学」(千葉大学名誉教授・中川裕)
- ◆ 7月17日(日) 13時30分～15時 1階交流室  
講演会「言語学からみた知里真志保の業績～アイヌ語の「動詞価」をめぐって」(北海道大学教授・佐藤知己)
- ◆ 7月18日(月・祝) 13時30分～15時 1階交流室  
講演会「知里真志保の生涯～まわりの人々・登別での地名調査」(登別アイヌ協会顧問・小坂博宣)
- ◆ 7月23日(土)、24日(日) 10時～11時30分 ウポポイ園内およびポロトの森散策路 ※要予約  
ホリデーイベント「植物と暮らし紹介～コタンの樹木案内」第4回特別展示知里真志保展拡大版
- ◆ 7月30日(土) 13時30分～14時30分 1階交流室  
講演会「知里真志保が考えたこと～高校時代の日記からアイヌ文化史へ」  
(国立アイヌ民族博物館 アソシエイトフェロー・マーク・ウィンチェスター)
- ◆ 8月11日(木・祝) 13時30分～14時30分 1階交流室  
講演会「知里真志保の調査・研究の足跡」(国立アイヌ民族博物館 資料情報室長・田村将人)
- ◆ 8月13日(土)、14日(日) 14時～14時45分 1階交流室  
夏休み子ども向けイベント「言語学者になってみよう」

※ウポポイおよび博物館の入場は、オンラインによる日時指定（事前予約）が必要です。

※休館日：月曜日（祝日または休日の場合は翌日以降の平日）、7月19日(火)

※ウポポイ入場料とは別に特別展

入場料（300円）が必要です。

詳しくは国立アイヌ民族博物館のウェブサイトへ

国立アイヌ民族博物館 検索 <https://nam.go.jp/>

